

## 2009（平成 21）年度事業報告書（案）

### I. 事業の状況

研究成果公開のため、『英文学研究』2冊を予定通り刊行した。巻号および発行日は、和文第 86 巻（2009/11/20）、英文号<2010>（2010/3/1）。総頁数は、和文号 178 頁、英文号 213 頁、計 391 頁（前年度 582 頁）である。また、昨年度創刊された『英文学研究』（支部統合号）は、新たに『北海道英語英文学』、『東北英文学会大会 Proceedings』を加え、関西支部を除く 6 支部の統合的学術雑誌として第 2 号が刊行された（総頁数は 535 頁、前年度は 453 頁）。

英文学語学に関する研究を普及する事業として、日本英文学会第 81 回全国大会を、2009 年 5 月 30 日（土）、31 日（日）の両日、東京大学駒場キャンパスで行なった。研究発表 53、シンポジウム 12 部門、特別シンポジウム「このままでいいのか語学文学研究—リベラル・アーツの危機と英文学会」が行なわれた。また、この大会における研究発表、シンポジウム、特別シンポジウムの概要を収めた『第 81 回大会 Proceedings』を 2009 年 9 月 20 日に刊行した。総頁数は 267 頁（前年度 192 頁）である。

全国大会以外の講演会研究発表会として、2009 年 4 月 25 日（土）にシェイクスピア祭を、東京大学駒場キャンパス（第 18 号館ホール）にて、日本シェイクスピア協会との共催で開催した。その他、各支部においても大会が開催された。

これらの案内と報告のため、本部および各支部は Newsletter を年 2 回、発行した。

### II. 処務の概要

#### 1. 役員などに関する事項（2009（平成 21）年度末現在）

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	丹治 愛	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	東京大学教授	-
理事	竹本幸博	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	北海道大学教授	-
同	遠藤健一	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	東北学院大学教授	-
同	丹治 愛	平成 19 年 4 月 1 日	-	なし	東京大学教授	-
同	鈴木俊次	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	愛知学院大学教授	-
同	玉井 暲	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	大阪大学教授	-
同	地村彰之	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	広島大学教授	-
同	木下善貞	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	北九州市立大学教授	-
監事	加藤光也	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	駒澤大学教授	-
同	宮内 弘	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	京都大学教授	-

## 2. 事務局員に関する事項

2009（平成 21）年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	原田 範行	平成 21 年 4 月 1 日	-	給与	-
事務局長補佐	阿部 公彦	平成 21 年 4 月 1 日	経理	給与	-
大会準備担当書記	山田 雄三	平成 21 年 4 月 1 日	大会準備	給与	-
編集担当書記	志渡岡理恵	平成 21 年 4 月 1 日	編集	給与	-

## 3. 役員会等に関する事項

### （1）理事会

開会月日	議事事項	会議の結果
平成 21 年 4 月 1 日	1. 新評議員の任命 2. 会長の選出	承認 承認
平成 21 年 5 月 29 日	1. 2008 年度事業報告 2. 2008 年度決算報告 3. 2009 年度事業計画（報告） 4. 2009 年度予算（報告） 5. 役員交代（報告） 6. 会長交代（報告） 7. 大会準備委員会報告 8. 編集委員会報告 9. 2010 年度第 82 回全国大会開催（神戸大学）	承認 承認     承認 承認 承認
平成 21 年 9 月 19 日	1. 文部科学省実地検査結果（報告） 2. 全国大会支部分担（2019 年度まで） 3. 支部統合号刊行計画 4. 本部支部会費低減方針 5. 日本英文学会会計処理規程および同細則 6. 会員規程改正 7. 役員選挙規程整備方針 8. 学会誌リポジトリ化方針	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
平成 22 年 3 月 20 日	1. 2010 年度事業計画 2. 2010 年度予算 3. 役員選挙およびそれに伴う寄附行為の変更について	承認 承認 継続審議

(2) 評議員会

開会月日	議事事項	会議の結果
平成 21 年 4 月 1 日	1. 新評議員による理事の選任	承認
平成 21 年 5 月 29 日	1. 2008 年度事業報告 2. 2008 年度決算報告 3. 2009 年度事業計画（報告） 4. 2009 年度予算（報告） 5. 役員交代（報告） 6. 会長交代（報告） 7. 大会準備委員会報告 8. 編集委員会報告 9. 2010 年度第 82 回全国大会開催（神戸大学）	承認 承認     承認 承認 承認
平成 20 年 3 月 29 日	1. 2010 年度事業計画 2. 2010 年度予算 3. 役員選挙およびそれに伴う寄附行為の変更について	承認 承認 継続審議

4. 許可、認可、承認、証明などに関する事項

申請月日	申請事項	許可等月日	備考
-	なし	-	-

5. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の概要
-	なし	-

6. 寄付金に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込金額	領収金額	備考
-	なし	-	-	-

7. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
平成 21 年 7 月 14 日	「実地検査の結果について（通知）」(21 振学助第 2 の 17 号)	改善状況報告書提出（平成 22 年 1 月 29 日）

8. その他重要事項

特になし

9. 会員数（2010年3月末現在）

個人会員	3,237名（前年度末3,271名）	増減	- 34
協賛会員	42名（前年度末42名）	増減	0
総計	3,279名（前年度末3,313名）	増減	- 34

## 2009 年度編集委員会活動報告

2010 年 5 月 28 日

### (1) 委員会開催日

通常委員会：2009 年 5 月 29 日、6 月 13 日、10 月 17 日。

新人賞第二次審査のための小委員会：2009 年 7 月 18 日。

### (2) 人事

1. 井石哲也、大田信良、中野春夫（イギリス文学分野）、上岡伸雄、外岡尚美（アメリカ文学分野）、岡田禎之、小倉美知子、寺田寛（英語学分野）以上 8 名の委員は、2010 年 3 月末日をもってすべての任期が満了となった。後任 8 名の新委員を選出するため、第 3 回編集委員会にて選挙を行い、就任の依頼をおこなった。その結果、新井英永、久野陽一、前沢浩子（イギリス文学）、一ノ瀬和夫、渡辺克昭（アメリカ文学）、小川芳樹、谷ロー美、William Snell（英語学）の 8 名の承諾を得た。新委員の任期は 2010 年 4 月 1 日より 3 年間（敬称略）。

2. 2010 年度 委員長：高橋勤（アメリカ文学分野）

副委員長：石塚久郎（イギリス文学分野）、岡崎正男（英語学分野）

### (3) 『英文学研究』発行状況

第 86 巻第 1 号 (2009 年 11 月 20 日発行) 180 ページ

英文号 51(2010) (2010 年 3 月 1 日発行) 213 ページ

総ページ数 393 ページ

(前年度 582 ページ、前々年度 539 ページ)

なお、『英文学研究』EN51(2010)には、平成 21 年度科学研究費補助金 800,000 円が支給された（申請時の予定ページ数は 300 ページ）。

(4) 2009 年度『英文学研究』論文審査の状況 (2008 年 10 月 15 日～2009 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採 用	不採用	審査中
英文学	29(13-16)	3(1-2)	26(12-14)	0(0-0)
米文学	7(0-7)	2(0-2)	5(0-5)	0(0-0)
英語学	1(0-1)	0(0-0)	1(0-1)	0(0-0)
計	37(13-24)	5(1-4)	32(12-20)	0(0-0)
和文の割合	35%	20%		

カッコは和文—英文比

(参考)

2008 年度『英文学研究』論文審査の状況 (2007 年 10 月 15 日～2008 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採 用	不採用	審査中
英文学	27(15-12)	6(4-2)	21(11-10)	0(0-0)
米文学	16(8-8)	8(4-4)	8(4-4)	0(0-0)
英語学	5(4-1)	1(0-1)	4(4-0)	0(0-0)
計	48(27-21)	15(8-7)	33(19-14)	0(0-0)
和文の割合	56%	53%		

カッコは和文—英文比

2007 年度『英文学研究』論文審査の状況(2006 年 10 月 15 日～2007 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採 用	不採用	審査中
英文学	24(17-7)	7(4-3)	17(13-4)	0(0-0)
米文学	15(9-6)	5(4-1)	10(5-5)	0(0-0)
英語学	2(1-1)	0(0-0)	2(1-1)	0(0-0)
計	41(27-14)	12(8-4)	29(18-9)	0(0-0)
和文の割合	65%	66%		

カッコは和文—英文比

2006 年度『英文学研究』論文審査の状況(2005 年 10 月 15 日～2006 年 10 月 14 日受理分)

	投稿論文数	採 用	不採用	審査中
英文学	23(16-7)	6(5-1)	17(11-6)	0(0-0)
米文学	11(7-4)	6(4-2)	5(3-2)	0(0-0)
英語学	2(1-1)	0(0-0)	2(1-1)	0(0-0)
計	36(24-12)	12(9-3)	24(15-9)	0(0-0)
和文の割合	66%	75%		

カッコは和文—英文比

(5) 第32回日本英文学会新人賞の審査結果

応募論文総数：英文学6編 米文学3編 英語学0編 計9編

(前年度比3編減)

第1次審査通過論文数：1編

(前年度比2編減)

受賞論文：該当論文なし

佳作論文：該当論文なし

(6) 2009年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	16(11-5)	16(11-5)	0-0	0(0-0)
米文学	16(13-3)	16(13-3)	0-0	0(0-0)
英語学	12(4-8)	12(4-8)	0-0	0(0-0)
計	44(28-16)	44(28-16)	0-0	0(0-0)
和文執筆の割合	57% (25/44)	57% (25/44)		
和文号書評に占める英文書評の割合	11% (3/28)	11% (3/28)		

カッコ内は和文号—英文号比

## 2009 年度大会準備委員会報告

2010 年 5 月 28 日

### 1. 2009 年 5 月 30 日(土) 第 81 回大会第 1 日目

委員会 [於 東京大学駒場キャンパス 12 号館 3 階 1233 (大会本部) ]

- 1) 大会運営の事務打ち合わせ
- 2) 辞任委員および任期満了委員の後任選挙  
石幡直樹委員の後任 大河内昌 (東北大学)  
原田範行委員の後任 武田将明 (法政大学、2010 年 4 月より東京大学)  
武藤浩史委員の後任遠藤不比人 (成蹊大学)  
舌津智之委員の後任富山英俊 (明治学院大学)  
保坂道雄委員の後任大沢ふよう (法政大学)  
斎藤兆史委員の後任奥聡一郎 (関東学院大学)

### 2. 2009 年 5 月 31 日 (日) 第 81 回大会第 2 日目

委員会 [於 東京大学駒場キャンパス 12 号館 3 階 1233 (大会本部) ]

- 1) 大会運営の事務打ち合わせ

### 3. 2009 年 6 月 21 日(土)

委員会 [於 東京女子大学 2 号館 2 階 2203 室]

- 1) 第 81 回大会の総括
- 2) 委員長交代 斎藤兆史 (旧委員長) → 服部典之 (新委員長)  
(以後 新委員会)
- 3) 副委員長選挙 箭川修委員を副委員長に選出
- 4) 第 82 回大会の準備、シンポジウム企画、招待発表、特別講演についての検討
- 5) その他

### 4. 2009 年 9 月 4 日 (金)

第 82 回大会開催校神戸大学国際文化学部キャンパス訪問、挨拶と打ち合わせ、会場の下見

### 5. 2009 年 9 月下旬まで

委員間のメールによる審議で、シンポジウム、招待発表者を確定

### 6. 2009 年 10 月

一身上の都合で辞任した和田尚明委員の後任選挙を郵送により行い、遠藤喜雄氏 (神田外語大学) が選出された。



## 7. 2009年11月21日(土)

委員会 [於 専修大学神田キャンパス1号館8階8C会議室]

- 1) 新委員の紹介
- 2) 9月のメールによる審議にて決定したシンポジア、招待発表者の確認
- 3) 第82回全国大会研究発表応募論文の審査と審議
- 4) 研究発表の組み合わせと司会者、担当委員の審議
- 5) 部屋割りについて
- 6) その他

### \* 過去5年間の研究発表応募採択状況

(複数人による共同発表者は1名と計算。2008年、2009年のカッコ内の数字は招待発表を合わせたもの。2009年はカリブ海文学、カナダ文学、アイルランド・日本の比較文学についての研究発表の応募を広域英語圏文学として分類した。)

採択数/応募数

	2010	2009	2008	2007	2006
英文学	22(26)/38(42) [中世3(4)/3 (4)]	31(36)/52(57) [中世2(3) 名]	29(33)/40 (44) (中世1名)	29/39 (中世4名)	29/42 (中世0名)
米文学	10(11)/16(17)	5(6)/8(9)	8(9)/19(20)	6/10	8/27
広域英語 圏文学	4/7	1/3			
英語学	4(6)/10(12) (Philology0 名)	5(7)/7(9) (Philology 1 名)	4(7)/7(9) (Philology 1名)	11/17 (Philology2名)	7/13 (Philology 0名)
英語教育	2/5	2(3)/4(5)	1(2)/1(2)	0/0	0/2
計	42(48)/76(83)	44(53)/74(83)	42(50)/67(75)	46/66	44/84

\* 大会準備委員（五十音順）

鵜殿えりか	遠藤不比人	遠藤喜雄（11月就任）	大河内昌
大沢ふよう	大島由起子	奥聡一郎	唐澤一友
末廣幹	武田将明	梅正行	富山英俊
畠山雄二	服部典之	藤井香子	箭川 修

和田尚明（11月辞任）

\* 開催校委員（五十音順）

石塚裕子	加藤雅之	島津厚久	西谷拓哉
野谷啓二	菱川英一	松家理恵	水口志乃扶
山本秀行	米本弘一		

\* 支部委員（関西支部）（五十音順）

石割隆喜（大阪大学） 浦啓之（関西学院大学）  
川島伸博（大阪学院大学） 竹村はるみ（立命館大学）  
玉井暲（大阪大学、2010年4月より武庫川女子大学）  
新野緑（神戸市外国語大学） 廣野由美子（京都大学）  
宮内弘（京都大学）

## 【参考】

### 大会準備委員会内規

#### ○新委員の選出

1. 新委員は大会第1日の委員会の席上、委員の投票によって選出する。
2. 欠員の生じる各分野（英文学・米文学・英語学）において事前に協議のうえ順位を附して、複数の候補者（任期満了予定者の3倍以内の人数）を大会第1日の委員会開催までに推薦し、これを選挙の対象とする。
3. 投票は単記無記名投票とし、得票数の多い順に就任依頼をする。得票数が同じ場合は、前項の各分野の推薦順位に従う。
4. 新委員の任期は3年とし再任は認めない。ただし、任期満了後、ある期間をおいての再任は、これを妨げない。
5. 委員は就任時満60歳未満とする。

#### ○委員の欠員が生じた場合

6. 何らかの事情により委員の欠員が生じた場合、その事例が発生した後の最初の委員会で後任を選出する。選出方法は新委員選出の場合に準じる。ただし、委員の欠員が生じたことにより、委員会の職務履行に不都合が生じると委員長が判断した場合は、郵送による後任委員選挙を行うこととする。その場合の新委員選出方法は上述の1から5の項目に準じる。
7. 後任者の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、後任者の在任期間が1年未満の場合は再選を妨げない。

#### 〔了解事項〕

1. 委員長は前年度の副委員長が勤めるものとする。  
副委員長は、原則として就任2年目の委員のなかから、大会終了後最初の委員会の折に単記無記名投票によって選出する。
2. 委員長・副委員長の任期はそれぞれ1年とする。
3. 新委員の選出にあたっては、任期満了予定者及び中途交替者と同一勤務大学にならないようできるだけ配慮するが、他に適当な後任候補者がいない場合はこの限りではない。
4. 各分野の委員数は、英文学8名、米文学3名、英語学4名、英語教育学1名とする。
5. 研究発表応募論文の審査は、原則として、3名以上の委員が行う。

以上

1985年2月2日大会準備委員会において決定

1986年6月7日改正

第5項は1990年5月20日大会準備委員会にて追加

1993年11月20日改正・了解事項4、5を追加

第4項は1994年6月11日大会準備委員会にて改正

第4項は1998年4月11日理事会にて改正

第4項は2003年7月5日大会準備委員会にて改正

了解事項4は2005年11月26日大会準備委員会にて改正

第3項は2007年6月23日大会準備委員会にて改正

第6項は2008年11月29日大会準備委員会にて改正